

第2 各総室の事業概要（令和2年度実績）

1 保健総室【五所川原保健所】

1-1 指導予防課関係業務

1-1-1 衛生教育

日常の暮らしの中での健康増進や生活衛生、子育て問題等について、各種研修会の場などを利用して、地域住民に広く保健衛生思想の普及向上を図るための衛生教育を実施した。

令和2年度は36回実施し、延べ参加人員は882人である。

(単位:回、人)

教育内容	実施回数	延べ参加人数
感染症 (結核・エイズを除く)		
結核	2	32
精神		
難病		
母子		
成人・老人	20	441
栄養・健康増進	1	33
医事・薬事	2	73
食品	10	286
環境	1	17
その他		
合計	36	882

1-1-2 医療及び薬事関係

(1) 医療施設等の状況

(1)-1 医療施設等数

病院及び診療所の施設数及び病床数は、令和元年度末と同数であった。

(令和3年3月31日現在)(単位：施設(箇所)、病床数(床))

区分	総数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
病院	8	6	1	1			
病床数	1,315	980	265	70			
一般	580	510		70			
精神	164	164					
結核							
感染症	4	4					
療養	567	302	265				
診療所無床	75	40	11	4	6	6	8
診療所有床	5	3	1	1			
病床数	69	46	4	19			
一般	69	46	4	19			
療養							
歯科診療所	43	23	9	3	2	3	3
助産所	1			1			
施術所	88	45	20	6	7	6	4
歯科技工所	14	9	3	1		1	
衛生検査所	1	1					
介護老人保健施設	6	2	1	1	1	1	

(1)-2 主な保健医療従事者数

「医科・歯科医師・薬剤師調査」及び「衛生行政報告例」によれば、管内の主な保健医療従事者の状況は、次のとおりである。

(平成30年12月末現在)(単位：人)

区分	総数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
医師	171	129	13	11	4	9	5
歯科医師	60	32	13	5	2	3	5
薬剤師	190	149	15	10	3	11	2
保健師	84	34	20	8	7	9	6
助産師	20	16	2	2			
看護師	819	626	76	58	22	28	9
准看護師	502	296	103	26	17	28	32
歯科衛生士	59	35	6	7	1	6	4
歯科技工士	36	22	5	3	1	4	1

※ 保健師、助産師、看護師及び准看護師のデータは医療薬務課より聴取

(2) 医薬品販売業者等数

令和2年度末現在、一般用医薬品を販売する店舗販売業は1施設増えたが、調剤業務を行う薬局は1施設減となり、医薬品販売業全体では増減はなかった。

また、コンタクトレンズや血糖測定器等の高度管理医療機器等を取り扱う営業所、補聴器等の管理医療機器を取り扱う営業所ともに増減なしであった。

(令和3年3月31日現在)

区 分	総 数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
薬 局	55	39	7	3	1	3	2
卸 売 販 売 業	9	7	1	1			
店 舗 販 売 業	45	19	10	3	3	5	5
配 置 販 売 業	6	4	2				
配 置 従 事 者	28	14	13			1	
特 例 販 売 業							
一 般							
医 療 機 器 修 理 業	1	1					
高 度 管 理 医 療 機 器 等	54	40	8	3	1	2	
販 売 業	40	30	5	3	1	1	
貸 与 業							
販 売 業 ・ 貸 与 業	14	10	3			1	
管 理 医 療 機 器	226	108	61	16	13	12	16
販 売 業	205	94	56	15	13	12	15
貸 与 業							
販 売 業 ・ 貸 与 業	21	14	5	1			1
毒 物 劇 物 販 売 業	77	32	21	6	5	4	9
一 般	28	21	4		1	1	1
農 業 用 品 目	46	10	16	5	4	3	8
特 定 品 目	3	2		1			
麻 薬 卸 売 業	1	1					
麻 薬 小 売 業	49	34	6	3	2	3	1
医 薬 品 製 造 業	1	1					
医 薬 品 製 造 販 売 業	1	1					
医 療 機 器 製 造 業	1	1					
薬 局 医 薬 品 製 造 業	2	2					
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業	2	2					

(3) 医療監視の状況

病院及び診療所等が、医療法その他の法令に規定された適正な管理運営がされているかどうか検査することにより、地域住民に適切な医療等が提供されることを目的に実施している。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に実施しないこととされたため、当圏域においても実施件数は低いものとなっている。

(単位：実施数(件)、実施率(%))

年 度 区分	R2		R1		H30	
	対象施設	実施数 実施率	対象施設	対象施設 実施率	実施数 実施率	対象施設 実施率
病 院	8		8	8 100.0	8	8 100.0
一般診療所	80	2 2.7	80	27 33.8	84	26 31.0
歯科診療所	43		43	16 37.2	42	17 37.8
助 産 所	1		1		1	
施 術 所	88	2 2.3	89	10 11.2	90	9 10.0
歯科技工所	14		14		14	

(4) 薬事監視の状況

薬局及び医薬品販売業者等が、関係法令を遵守し、医薬品等の適正な管理がされているかどうか監視・指導を行い、消費者が安心して医薬品を購入できる体制の確保に努めている。また、麻薬取扱施設に対しては、麻薬及び向精神薬取締法に基づく適正使用や保管管理について監視・指導している。

(単位：実施数(件)、実施率(%))

年 度 区分	R2		R1		H30	
	対象施設	実施数 実施率	対象施設	対象施設 実施率	実施数 実施率	対象施設 実施率
薬 局	55	21	56	26	59	24
		38.2		46.4		40
卸 売 販 売 業	9		9	3	9	4
				33.3		44.4
店 舗 販 売 業	45	9	44	19	41	26
		20.0		43.2		66.7
配 置 販 売 業	6		6		8	
特 例 販 売 業						
医 療 機 器 修 理 業	1		1	1	1	1
				100		100
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業	40	10	38	17	39	18
		25.0		44.7		46.2
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業 ・ 貸 与 業	14	2	15	6	15	7
		14.3		40		46.7
管 理 医 療 機 器 販 売 業	205		203		203	11
						5.31
管 理 医 療 機 器 販 売 業 貸 与 業	21		23		18	
医 薬 品 製 造 業	1		1		1	
医 薬 品 製 造 販 売 業	1		1		1	
医 療 機 器 製 造 業	1		1		1	
薬 局 医 薬 品 製 造 業	1		2		3	2
						66.7
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業	1		2		3	2
						66.7
毒 物 劇 物 販 売 業	77	5	77	38	81	38
		6.5		49.4		46.9
麻 薬 取 扱 施 設	93	25	93	49	98	45
		26.9		52.7		45.9

(5) 不正大麻・けしの抜去状況

毎年6月から9月まで実施される「不正大麻・けし撲滅運動」の期間中に実施し、管内市町を巡回の上、発見した際は除去している。

(単位：箇所／本)

区分		年度		
		R2	R1	H30
大麻	管内			
	県	94/50,173	80/43,041	120/106,523
けし	管内	37/3,628	23/1,752	14/1,480
	県	101/9,401	57/3,487	58/5,079

(6) 薬物乱用防止に関する研修会

薬物乱用の防止を図るため地域に密着した啓発活動等が行われることを目的として、研修会を実施している。

年月日	実施場所	対象及び人数
令和2年11月24日	五所川原市立東峰小学校	児童23名
令和2年12月3日	五所川原市立五所川原小学校	児童50名

(7) 移動採血車及び出張採血による献血状況

「県内の医療機関で必要な血液はすべて県民の善意の献血で確保する」を基本理念に、地域住民の理解を求め、血液センターの移動採血車等が職域等に出向き、献血者の協力を得て確保に努めている。

- 令和2年度献血実績(献血バス分) (令和3年3月31日現在)

区分	全血献血				
	200ml (人)	400ml (人)	目標量 (L)	確保量 (L)	達成率 (%)
市町村					
五所川原市	44	730	435.0	300.8	69.1
つがる市	25	44	348.0	244.8	70.3
鱒ヶ沢町		120	52.2	48.0	92.0
深浦町		73	34.8	29.2	83.9
中泊町	2	69	52.2	28.0	53.6
鶴田町		148	87.0	59.2	68.0
管内(計)	71	1184	1012.2	710.0	72.8
青森県	865	18094	10353.0	7410.6	71.0

※成分献血については、平成21年度より献血バスが廃止。

(8) 西北五地域災害医療対策協議会

災害時において関係機関が連携して地域医療を確保するため、二次保健医療圏ごとに地域災害医療対策協議会を設置し、災害時の連携体制構築に向けた協議を行うとともに、日頃から顔の見える関係を築くことを目的とするものである。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全県的に実施していない。

1-1-3 感染症予防関係

(1) エイズ予防関係

保健所に相談窓口を開設し、エイズ及び性感染症のまん延防止を図るため、無料・匿名での血液検査を月1回実施している。なお、平成24年7月から夜間即日検査を導入した。

(単位：件)

区分 年度	血液検査		相 談					
	採血件数		相談件数		内 訳			
	男	女	男	女	電 話		来 所	
					男	女	男	女
R2	10	3	11					
R1	20	11	12	2	12	1		1
H30	19	18	8	3	8	3		

(2) 肝炎ウイルス相談・検査事業

保健所に相談窓口を開設し、C型肝炎ウイルス及びB型肝炎ウイルス感染者の早期発見、早期治療を図り肝硬変や肝がん等への進行を予防することを目的に相談や血液無料検査を実施している。

(単位：件)

区分 年度	血液検査		相 談		
	採血件数		相談件数	内 訳	
	男	女		電 話	来 所
R2			11	7	4
R1		1	3	2	1
H30		1	1	1	

(3) 肝炎治療特別推進事業

C型肝炎ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ治療に要する医療費の一部を助成する事業であり、保健所が申請受理を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、有効期間が1年延長されたため、更新申請は行われなかった。

(単位：件)

区分 年度	インターフェロン フリー治療	インターフェロン治療		核酸アナログ製剤 治療（更新含）
		C型	B型	
R2	25			1
R1	49			77
H30	65			68

(4) 感染症発生状況

令和2年は二類～四類感染症(全数把握)の発生が計35件あった。感染症発生時は、感染源や感染経路の調査、感染予防のための実地指導を行った。また、感染性胃腸炎等が集団発生した際には、まん延防止に係る指導等を行った。

(単位：件)

区分 年度	一類感染症	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症 (全数把握)
R2		27 〔 結核 19 LTBI 8 〕	2 〔 腸管出血性大腸 菌感染症 2 〕	6 〔 レジオネラ症 3 つつが虫病 2 E型肝炎 1 〕	
R1		19 〔 結核 13 LTBI 6 〕		2 〔 レジオネラ症 1 つつが虫病 1 〕	
H30		29 〔 結核 14 LTBI 15 〕	4 〔 腸管出血性大腸 菌感染症 4 〕	2 〔 レジオネラ症 1 つつが虫病 1 〕	4 〔 水痘 2 梅毒 2 〕

【集団発生状況】

(単位：施設)

区分 年度	五類感染症 (定点報告疾患)			備 考
	感染性胃腸炎	インフルエンザ	その他	
R2	4			
R1	1	29		
H30		29		

1-1-4 結核予防関係

(1) 結核患者登録状況(市町別・活動性分類、年齢別)

令和2年中の管内の新登録患者は27人で前年より8人減少し、令和2年末の全登録患者総数は52人で前年末より9人減少した。新登録患者のうち65歳以上の患者は、8割を超えている。

結核の早期発見、早期治療のため、接触者健康診断及び管理検診を推進するとともに、結核に関する知識の普及啓発等を積極的に行っている。

(1)-1-1 新登録患者数 市町別・活動性分類

(令和2年1月1日～令和2年12月31日) (単位：人)

区分 市町名		活動性結核							潜在性結核感染症(別掲)	
		総数	性別		肺結核			肺外結核活動性		
			男	女	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性			菌陰性その他
				初回治療	再治療					
五所川原市		7	4	3	4	2			1	5
つがる市		4	4		3				1	1
鱒ヶ沢町										
深浦町		4	4		1		1	2		1
鶴田町		2		2	2					
中泊町		2	1	1	1				1	1
年	R2	19	13	6	11	2	1	2	3	8
	R1	13	8	5	9		2	1	1	6
	H30	14	9	5	8		1	4	1	15

(1)-1-2 新登録患者数 年齢別

(令和2年1月1日～令和2年12月31日) (単位：人)

年齢階級 市町名		合計	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	潜在性結核感染症(別掲)
			9	19	29	39	49	59	69	79	89		
五所川原市		7(4)							1	2(1)	3(2)	1(1)	5
つがる市		4(3)								3(3)		1	1
鱒ヶ沢町													
深浦町		4(1)							2(1)	1	1		1
鶴田町		2(2)									2(2)		
中泊町		2(1)								1(1)	1		1
年	R2	19(11)							3(1)	7(5)	7(4)	2(1)	8
	R1	13(9)					2(1)	1(1)	1(1)	3(1)	6(5)		6
	H30	14(8)				1	2(1)		3(3)	2	6(4)		15

65歳以上は18人(94.7%)であった。

()内は喀痰塗抹陽性を再掲。

(1) - 2 - 1 全登録患者数 市町別・活動性分類

(令和2年12月31日現在) (単位:人)

区分 市町名	総数	性別		活動性結核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症 (別掲)		
				肺結核活動性			肺外結核活動性						
		男	女	登録時喀痰塗沫陽性		登録時その他の菌陽性		登録時菌陰性その他					
				初回治療	再治療		治療中		観察中				
五所川原市	14	10	4	3				1	3	7	4	7	
つがる市	4	3	1	1				1		2	2	1	
鱒ヶ沢町			1								1		
深浦町	6	5	1			2	2			2	1	4	
鶴田町	2	1	1	1					1			1	
中泊町	3	2	1					1		2	1	1	
年	R2	35	24	11	5		2	2	3	4	13	9	14
	R1	35	24	11	6		1	2		22	4	3	23
	H30	40	27	13	4			5	2	20	9	15	33

(1) - 2 - 2 全登録患者数 年齢別

(令和2年12月31日現在) (単位:人)

年齢階級 市町名	合計	0 ~ 9	10 ~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80~ 89	90~	潜在性結核感染症 (別掲)		
												治療中	観察中	
												五所川原市	14(4)	
つがる市	4						1		2		1	2	1	
鱒ヶ沢町	1					1						1		
深浦町	6(1)							1(1)	3	2		1	4	
鶴田町	2					1				1(1)			1	
中泊町	3(1)									3(1)			4	
年	R2	35(7)				1	1	3	4(1)	7(1)	11(4)	1(1)	3	23
	R1	35(6)				1	6(1)	4	6(1)	5	13(4)		3	23
	H30	40(4)		1		2	6	5(1)	7	6(1)	13(2)		15	33

65歳以上は21人(72.4%)であった。

()内は、登録時喀痰陽性を再掲。

(2) 結核患者罹患率及び有病率

(令和2年12月31日現在)

区分		人口	新登録患者数 (人口10万対)	罹患率	活動性登録患者数 (人口10万対)	有病率
市町名						
五所川原市		51,044	7	13.7	4	7.8
つがる市		30,338	4	13.2	2	6.6
鱒ヶ沢町		8,817		0.0		0.0
深浦町		7,285	4	54.9	4	54.9
鶴田町		12,290	2	16.3	1	8.1
中泊町		9,831	2	20.3	1	10.2
管内 合計	R2	119,605	19	15.9	12	10.0
	R1	121,912	13	10.7	9	7.4
	H30	124,405	14	11.3	11	8.8
R1 青森県		1,246,000	112	9.0	65	5.2
R1 全国		126,167,000	14,460	11.5	9,695	7.7

(人口：令和2年10月1日推定)

(3) 結核診査協議会の診査状況

(単位：件)

年度	感染症法	申請	決定・承認	その他	その他の内訳
R2	第37条	47	47		
	第37条の2	26	26		
R1	第37条	43	43		
	第37条の2	33	32	1	不承認
H30	第37条	43	43		
	第37条の2	33	32	1	不承認

注 第37条…入院勧告を受けた患者、第37条の2…入院勧告以外の患者

(4) 接触者健康診断及び管理検診実施数

(単位：件)

		接触者健診				管理検診				
		合計	保健所 実施	委託医 療機関	他の受診 を確認で きたもの	合計	保健所 実施	定期病 状調査	委託医 療機関	他の受診 を確認で きたもの
年 度	R2	84	79	5		45	36	2		7
	R1	109	105	4		77	52	1	2	22
	H30	106	100	6		62	43	5	4	10
ツ反		2		2						
IGRA		52	49	3						
胸部エックス線		30	30			77	52	1	2	22
被 発 見	結核患者									
	潜在性結核感染症	3	3							

(5) 訪問指導状況等

訪問指導等により、新登録患者や登録患者への療養指導、接触者への感染予防、発病予防の指導、正しい知識の提供、不安の軽減等を行っている。

令和2年度は、訪問：24件（延べ53件）、相談：電話延べ6件、来所延べ6件、関係機関（者）訪問延べ10件であった。

(6) 結核対策特別促進事業実施状況

ア 特別対策促進事業

(ア) 院内DOTS

患者及び家族に対して結核の正しい知識を提供し、早期から不安の軽減と治療への動機づけを図った。(対象11件)

(イ) 地域DOTS

服薬中断リスクやニーズに応じた服薬支援を、患者及びその家族、関係機関と連携しながら実施した。訪問13件（延べ32件）、薬局DOTS含むメールや電話は延べ58件、来所は延べ2件であった。

(7) 市町長が行う結核定期健康診断及びBCG接種状況

(単位：人)

区分 市町名		胸部エックス線検査			精密検査				被発見		BCG		
		対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)%	対象者 (C)	受診者 (D)	受診率 (D/C)%	菌 検 査	結核	発病 恐れ あり	対象者 (E)	受診者 (F)	受診率 (F/E)%
五所川原市		18,676	3,416	18.3	102	87	85.3				251	252	100.4
つがる市		11,482	3,490	30.4	8	8	100.0				135	141	104.1
鱒ヶ沢町		4,152	763	18.4	26	25	96.2				25	27	108.0
深浦町		3,824	696	18.2	11	10	90.9				20	16	80.0
鶴田町		4,615	1,731	37.5						2	59	53	89.8
中泊町		4,577	1,081	23.6	14	12	88.2				34	29	85.3
年度	R2	47,326	11,177	23.6	161	142	87.2				524	518	98.9
	R1	47,835	12,185	25.5	180	157	87.2			2	697	565	81.1
	H30	47,647	12,222	25.7	163	139	85.3				603	583	96.7

注1 B欄には間接撮影を省略し直接撮影のみ実施した者を含む。

(8) 事業所の長等が行う結核定期健康診断

(単位：人)

区分 事業所等		胸部エックス線検査			精密検査				指導区分	
		対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)%	対象者 (C)	受診者 (D)	受診率 (D/C)%	菌検査	要 医療	要 観察
事業者		5,212	4,986	95.7	69	59	85.3			
学校 長	高校	963	963	100.0	4	4	100.0			
	その他	164	164	100.0						
施設長		1,300	1,221	93.9	88	75	85.2			
年度	R2	7,639	6,467	84.7	161	138	85.7			
	R1	8,107	7,792	96.1	140	125	89.3			
	H30	8,210	7,894	96.2	161	122	75.8			

注1 B欄には間接撮影を省略して直接撮影のみ実施した者を含む。

1-1-5 健康危機管理関係

「青森県健康危機対策実施要綱」及び「西北地域県民局健康危機管理手引書」に基づき、関係機関が開催する連絡会議等へ出席した。また、健康危機発生に備えた平常時からの準備として、当保健所職員を対象とした職場研修を企画し、PPE（個人防護具）の着脱訓練を行った。

健康危機管理に係る会議・研修会等

開催年月日	場 所	内 容
令和2年11月19日	五所川原合同庁舎 1階C会議室	「西北地域特定家畜伝染病防疫担当者会議」 出席
令和2年8月31日 9月1日 9月2日	五所川原保健所	感染予防策の基本 PPE着脱訓練 受講者：保健所職員 28名

1-1-6 新型インフルエンザ対策関係

令和2年度は、抗インフルエンザウイルス薬の保管状況（8,000カプセルを外部保管委託）の確認を実施した。なお、西北地域新型インフルエンザ対策協議会は、新型コロナウイルス感染症対策優先のため開催しなかった。

1-1-7 新型コロナウイルス感染症対策関係

令和元年12月中国武漢発新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大し、令和2年3月11日WHOが「パンデミック」（世界的大流行）を宣言。現在も継続中である。

国内でも感染が拡大し、特措法に基づく「緊急事態宣言」が令和2年4月以降これまで3回発令されている。現在まで感染拡大、縮小をくりかえし未だ収束はしていない。

県内及び西北五管内でも令和2年3月に感染者が確認されたことから、令和2年4月に新型コロナウイルス感染症の診療対応などを協議するため、医師会やつがる西北五広域連合傘下医療関係者などによる新型コロナウイルス感染症対策会議を開催した。

また、令和2年10月に新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えた体制整備などを協議するため、関係者による対策会議を開催した。

新型コロナウイルス感染症関連対策会議		
開催年月日	場 所	内 容
令和2年4月9日	五所川原合同庁舎 1階 C会議室	協議案件 ・新型コロナウイルス感染症感染者への医療機関診療 対応等について 出席者 35名（医師会、つがる西北五広域連合傘下医 療機関、管内病院）
令和2年10月13日	つがる西北五広域連合 つがる総合病院大ホー ル	協議案件 西北五地域での今後の発熱患者に係る外来診療・検査 体制について（コロナ・インフル同時流行に備え て） 出席者 49名（西北五医師会、つがる西北五広域連合 傘下医療機関、管内病院、保健医療調製本部等）

1-1-8 西北五地域保健医療推進協議会

管内における新型コロナウイルス感染症への優先対応及び本協議会開催による感染リスクの可能性を踏まえて協議会は開催しなかった。

なお、本協議会における主要テーマである「医療機関適正受診」を啓発するため、協議会で作成した啓發文書を構成団体の広報誌等への掲載について依頼した結果、掲載した構成団体もあった。

1-1-9 人材育成・市町支援関係

地域保健関係者研修

地域住民が健康を高め、地域で安心して生活できるよう、地域保健関係者が健康な地域づくりをめざして、専門的知識や技術を習得し、生活者重視の保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質向上と関係者間の連携強化を目的に、研修会を実施している。

回	開催年月日・場所	参加者	内 容
1	令和2年8月5日 五所川原保健所	18	<第1回保健師業務連絡会議> 1 情報提供 (1)令和元年度健康教養アンケート集計結果 (2)令和元年度糖尿病性人工透析調査結果 (3)3歳児肥満度調査結果 (4)令和元年度産後再喫煙調査結果 2 意見交換 テーマ「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの保健活動について」
2	令和2年11月 (書面開催)	9	<第2回新任期保健師研修> テーマ「地域診断」 ※新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、書面開催となった。
3	令和3年2月 (書面開催)	—	<第2回保健師業務連絡会議> ※書面による資料提供 1 情報交換 「新型コロナウイルス感染症における管内市町の対応状況について」 2 情報提供 (1)新型コロナウイルス感染症の3つのポイント (2)新型コロナウイルス感染症について保健所に確認したいこと

1-1-10 職場研修の実施状況

保健総室職員の資質向上を目的として実施している。

年月日・場所	テーマ・講師	参加数
令和2年4月～令和3年3月 毎月1回実施 保健総室庁舎	災害発生時保健所対応研修 講師 齋藤所長 外	平均 約30名
令和2年8月31日(月) 令和2年9月1日(火) 令和2年9月2日(水) 保健総室会議室	PPE着脱訓練 講師 齋藤所長 外	28名